

研究代表者	所属学系・職名 生命・環境学系 教授 氏 名 黒 沢 高 秀
研究課題	福島県内の絶滅危惧種の近年の生息・生育状況とその変化 Recent conditions of endangered species in Fukushima Prefecture, Japan
成果の概要	<p>環境省第4次レッドリストまたは福島県レッドデータブック掲載の絶滅危惧生物およびそれに準ずる植物および昆虫について、地元の研究者の協力を得て福島県全域で現地調査を行い、生息・生育状況を調査した。福島県の絶滅危惧生物およびそれに準ずる生物の分子系統学的研究を行った。植物の場合、過去の状況が分かっているものに関しては、減少率などを算出し、近年の変化を定量的に明らかにした。昆虫は近年の変化を定量的に評価することが困難な場合が多かったため、分布、生息地における個体数などに基づく生息状況の把握に留めた。絶滅危惧種の生息・生育地や個体数、状況などは国や自治体等に情報提供し、成果の一部は福島県の生物多様性地域戦略改定に盛り込むなど、環境行政に反映させた。</p> <p>植物に関しては、福島県レッドデータブックで「未評価」と扱われた129種類の植物を対象に、福島大学共生システム理工学類生物標本室および文献等で調査対象種の生育地を確認した後に、個体群を対象に現地調査を行った。各個体群について、環境省レッドリスト作成時の調査に用いられた方法に準じて、株数、10年間の増減、減少している場合その要因を記録した。分類群ごとに調査結果を集計し、分類群ごとの推定総個体数、推定減少率などを算出し、生育状況や減少の要因などを集約した。ヤマクワガタ、エゾカワジシャ、センダイタイゲキ、マルミノウルシの葉緑体DNAおよび核DNAの特定の遺伝子または遺伝子間領域の塩基配列を決定し、系統解析を行った。また、津波跡地のミズアオイの遺伝子を解析して由来を推定した。</p> <p>昆虫に関しては、環境省第4次レッドリストの掲載種（福島県内に分布する可能性がない種は除外）及び福島県レッドデータブック掲載種全種を対象に現地調査を実施した。その結果、東北地方太平洋沖地震によって発生した津波による生息環境破壊が原因で震災後に再発見されない種、国内希少野生動植物に指定されている種の新たな生息地、福島県レッドデータブック選定対象外の分類群で、県内では局地的な分布を示す種やその新たな生息地などを確認した。福島県レッドデータブック掲載種の中で、前回の調査時と同一の生息地における個体数が顕著に減少した種については、減少の要因について考察した。</p> <p>本研究による成果物は以下の通り：</p> <p><論文（査読なし）></p> <p>櫻井信夫・根本秀一・黒沢高秀. 2013. 東日本大震災前の福島県（および隣接する宮城県亘理町と茨城県北茨城市）の海岸およびその周辺部の維管束植物の分布. 福島大学地域創造25（1）：137-192.</p> <p>根本秀一・黒沢高秀. 2014. 福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域、および旧緊急時避難準備区域を含む市町村（福島県川俣町、飯舘村、南相馬市、浪江町、葛尾村、田村市、川内村、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町）の文献に基づく野生維管束植物の情報. 福島大学地域創造 25（2）：89-174.</p> <p>黒沢高秀. 2014. 東日本大震災前後の福島県の海岸の植生と植物相の変化および植生や植物多様性の保全の状況. 植生情報（18）：印刷中.</p> <p>塘 忠顕. 2013. キスジラクダムシ <i>Mongoloraphidia (Japanoraphidia) harmandi</i> (Navás) (ラクダムシ目：キスジラクダムシ科) の福島県からの記録. 福島生物（56）：41-44.</p>

成 果 の 概 要	<p><学会発表></p> <p>長鶴彩加・板野愛・汪光熙・横内茂・鈴木まほろ・黒沢高秀. 東日本大震災の津波跡地に出現したミズアオイはどこから来たか. 日本雑草学会第53回大会. 2014年3月29日. 法政大学小金井キャンパス, 小金井.</p> <p>根本秀一・黒沢高秀・兼子伸吾. 日本産クワガタソウ属の分類学的再検討. 日本植物分類学会第13回大会. 2014年3月21-23日. 熊本大学, 熊本.</p> <p>黒沢高秀. 福島県における震災前後の植物相の解明, および復旧事業と生物多様性保全両立の試み. 生物多様性 JAPAN 国内 WS: 大規模自然災害と生物多様性-2014国際シンポジウム事前集会— 自然災害と生物多様性. 2013年12月21日. 中央大学, 東京.</p> <p>黒沢高秀. 震災前と後の松川浦の自然, 植生, 植物相および行われている復旧事業. 平成25年度植生学会シンポジウム 東日本大震災で被災した海岸林復旧のあり方を考える植生保全も目指した松川浦での試み. 2013年9月. 相馬商工会議所, 相馬.</p> <p>増瀬翔太・塘忠顕. 福島県内の池沼から記録されたヒメシロカゲロウ属の一種 (カゲロウ目: ヒメシロカゲロウ科). 日本昆虫学会第73回大会. 2013年9月14日. 北海道大学, 札幌.</p> <p>志賀澄歌・塘忠顕. 日本の山岳域におけるアザミウマ相の解明 (予報). 日本昆虫学会第73回大会. 2013年9月16日. 北海道大学, 札幌.</p>
-----------	---